

植物由来のバイオエンプラ「DURABIO」が
スズキのコンパクト SUV 新型「フロンクス」のフロントグリルに採用

三菱ケミカルグループ^{※1}（以下「当社グループ」）の植物由来のバイオエンジニアリングプラスチック「DURABIO™（デュラビオ™）」が、スズキ株式会社（以下「スズキ」）のコンパクト SUV 新型「フロンクス」のフロントグリルに採用され、10月16日より発売されました。



DURABIO™が採用されたスズキ「フロンクス」

画像提供：スズキ株式会社

DURABIO™は、再生可能な植物由来原料「イソソルバイド」を用いて作られるバイオエンジニアリングプラスチックで、枯渇資源である石油の消費量を削減できるうえに、原料となる植物が成長過程で二酸化炭素を吸収するため、温室効果ガスの低減にも貢献できる素材です。耐衝撃性、耐傷付き性、発色性に優れ、自動車の内外装部品、光学・電子デバイス部材、日用雑貨など幅広い分野へ展開が進められています。

DURABIO™は、2021年末欧州で発売された「S-CROSS」以降、これまでに「スイフト」「スペーシア カスタム」「VITARA」といったスズキの国内外の車種で、フロントグリルへの採用が広がっています。今回の「フロンクス」でも、耐衝撃性および耐候性に加え、着色剤を配合するだけで光沢のある高度な意匠性を実現し、従来必要であった塗装工程を省き、製造時に発生する VOC（揮発性有機化合物）を低減するという優れた特性が評価されました。

当社グループは、DURABIO™の展開を通じ高付加価値な製品を提供するとともに、サステナブルな社会の実現に貢献していきます。

■ご参考：2024年10月16日 スズキ プレスリリース

<https://www.suzuki.co.jp/release/a/2024/1016/>

※1 三菱ケミカルグループは、三菱ケミカルグループ株式会社とそのグループ会社の総称です。

以上

お問合せ先
三菱ケミカルグループ株式会社
広報本部 メディアリレーション部
TEL : 03-6748-7140